

和歌山県教育センター学びの丘 広報誌 まなぶだより



令和5年度和歌山県教育センター学びの丘研究報告会 オンライン・平日開催

本年度報告会テーマ「児童生徒、教職員 一人一人が輝く学校・和歌山」

当センターでは、今日的な教育課題や学校が直面している課題の解決に向け、研修の実施及び調査研究を進めています。このような課題の解決に向け、「学校は、児童生徒も教職員も自身の存在価値が認められる場である」ことを重視し、今年度報告会に標記テーマを掲げました。

前半は「共生社会の担い手を育む教育」をテーマとした講演を予定しています。また後半は、学びの丘長期研修員が1年間をかけて取り組んできた研究の成果や各学校の課題解決に向けての展望等を発表します。是非ご参加ください。

日時：令和6年1月26日（金） 13:15～16:15

形態：オンライン配信

※詳しくは実施要項及びチラシをご覧ください



報告会の流れ

12:45	13:15	13:25		14:50	15:00	15:30	15:40	16:10	16:15
受付	開会挨拶	講演 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究員（兼）センター長 久保山 茂樹 氏	「共生社会の担い手を育む」を これからの保育・教育の合言葉に 一気になる子どもの視点で保育・教育を見直しながら～	報告 1-A	報告 1-B	報告 1-C	報告 2-A	報告 2-B	閉会挨拶

※研修員研究報告については、当日までに内容等を変更することがあります。

※オンライン配信の方法等については、後日ご案内します。

※経年研修（初任者研修、2年次研修、3年次研修、中堅教諭等資質向上研修【新規・継続】）の選択研修として出席することができます。その場合は、全ての日程に出席してください。

研修員の報告内容



報告 1-A
小学校 算数
児童自ら問題解決
に向かう授業

報告 1-B
小学校
少人数学級
における「協働
的な学び」

報告 1-C
中学校 国語
論理的に
読む力を育む

報告 2-A
小学校
授業における効果的
な ICT 利活用

報告 2-B
中学校 理科
課題の把握（発見）
に着目した授業



所内での研修の様子



教育経営研修（新任校長研修、新任教頭研修） ～「チーム学校」を目指して～

教育センター学びの丘では、新任校長及び新任教頭を対象に「校長・副校長・教頭・主幹教諭及び主任等に求められる資質・能力に関する指標」に基づき、管理職の職務及び学校における諸課題について理解を深め、管理職として必要な資質及び学校経営能力の向上を図るため、年間5日（新任校長：2日、新任教頭：3日）の研修を実施しています。

各研修において組織開発及びマネジメント能力等に関する内容を取り上げており、信頼される学校づくり、魅力ある学校づくりに向けての方策を学ぶとともに、日々の教育活動を通じた人材育成の重要性やきのくにコミュニティスクール等、関係機関との連携を含めた「チーム学校」の在り方について学ぶ機会も設定しています。

また、新任教頭、学校事務職員のクロスセッション及び新任教頭、新任主幹教諭、マネジメント力向上研修対象者のクロスセッションによる職種や立場の異なる受講者同士の協議を通して、マネジメント能力の向上を図っています。受講後のレポートには「OJD^(※)の活性度を高めて、働きがいのある、児童に力をしっかり付けられる、地域や保護者からも期待される学校経営に向けて頑張っていきたいと思います。」「バリュー、ミッション、ビジョンを話し合うことで、自分自身を見つめることができました。今までぼんやり考えていたビジョンがはっきり見えました。」等の記述が多く寄せられ、学校経営についての意欲を高めることのできる研修となっています。

組織開発及びマネジメント関連の内容

教育経営研修（新任校長研修②）	「学校に求められるOJDとは」「OJDの実践と管理職の役割」
教育経営研修（新任教頭研修②）	クロスセッション (合同による演習・協議)
学校事務職員マネジメント研修	
	「組織を活性化するための職能開発とOJT」
教育経営研修（新任教頭研修③）	クロスセッション (合同による演習・協議)
新任主幹教諭研修②	
マネジメント力向上研修②	
	「チーム学校の確立と学校組織マネジメント」



演習の様子

※OJD：On the Job Development … 中・長期的な人材育成



初任者研修授業研修 ～参加者全員が主体的に学ぶ研究授業～



受講者の協議の様子

初任者研修では、毎年9月から12月にかけて授業研修を実施しており、県立学校において、今年度は高等学校を4ブロック、特別支援学校を3ブロックに分けて実施しました。

授業研修は、「研究授業の参観及び協議を通して、児童生徒理解に基づいた授業の在り方、教材研究及び指導技術等について理解を深め、授業における実践的指導力の向上を図る」ことを目的とし、当該学校の学校概要説明や校長講話、研究授業及び協議等を通して、授業づくりについて学ぶ機会としています。

研究授業を参観した後の研究協議では、受講者は、授業において良かった点や気になった点について自分の意見を率先して発言し、良かった点は、自分の授業にどのように取り入れることができるのかなど、積極的に意見を交流します。そして授業者のみならず参加者の全員の授業づくりにも生かせる次の一手を導き出すために活発な協議を行います。

授業参観の5つの視点

- ①授業者が説明した視点
- ②教師の姿勢（声・目線・発問・指示等）
- ③目標を達成するための手立てや工夫
- ④授業の組み立て
- ⑤発問や指示に対する児童生徒の反応

受講後の振り返りアンケートには、「生徒に学ぶ喜びを教えていくためにも、自分自身が主体的に学び続ける教員であり続けようと思う。」といった、今後の授業づくりへの意欲に満ちた記述や、「自分の授業について様々な先生から意見を頂き、授業を見直し繰り返し実践することが大切であるということをもっと感じることができた研究協議だった。」といった、研修の効果を実感した記述がみられました。参加者全員の授業力向上に向け、主体的に学ぶ充実した授業研修となっています。



← 学びの丘から観察できる冬の星座（中央がオリオン座）